

# 議会だより



6月定例会開会の様子

## 6月定例会

議案審議内容	2
一般質問	3～6
委員会報告、議員視察	7～8
地域活動の紹介、議会の動き、9月定例会の日程	9
議会報告会のお知らせ	10

# 平成28年第2回定例会

平成28年第2回定例会は、6月7日から9日までの3日間の会期で行われました。

町長からは、報告事項5件、承認事項5件、平成28年度補正予算5件、条例制定改正3件、議員より発議1件が提出され、それぞれ原案どおり承認、可決しました。

## 6月議会の議案審議結果

承認第3号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(平成27年度一般会計補正予算(第9号))	全員賛成可決
承認第4号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(平成27年度一般会計補正予算(第10号))	全員賛成可決
承認第5号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例)	全員賛成可決
承認第6号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	全員賛成可決
承認第7号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(町税条例等の一部を改正する条例)	全員賛成可決
議案第34号	平成28年度一般会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第35号	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第36号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第37号	平成28年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第38号	平成28年度水道事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第39号	町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第40号	町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第41号	町乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
発議第1号	みちのく丸等の利活用推進特別委員会の設置に関する決議	全員賛成可決

## 平成28年度 補正予算

〈一般会計〉 (第1号)	補正額 △9600万円	総額 59億7400万円
〈特別会計〉 国民健康保険事業 (第1号)	356万円	22億5950万円
後期高齢者医療 (第1号)	△4万円	1億4772万円
介護保険事業 (第1号)	877万円	15億3022万円
水道事業 (第1号)	123万円	3477万円

野副委員長  
坂 充氏

江委員長  
渡 正樹氏

た。任する  
長には野坂充議員が就  
た。また、委員長には江  
渡正樹議員が、副委員  
長には野坂充議員が就  
任することとなりました。

議員全員で構成され  
任期は4年となります。  
た。議員  
「みちのく丸」が新たに設置さ  
れることとなりました。  
そのみちのく丸の利  
活用方法や、それに附  
随する事業計画等につ  
いて協議することを目  
的として「みちのく丸  
等の利活用推進特別委  
員会」が新たに設置さ  
れることとなりました。  
現存する中で唯一自  
立帆走可能な復元北前  
型弁財船である「みち  
のく丸」。  
全賛成可決  
推進特別委員会の設置  
に関する決議



中谷 謙一議員

下北ジオパーク構想との連携について

中谷議員

下北半島では、恐山、葉研温泉、北限のニホンザルなど古くからの観光資源、特徴ある地質を生かしたジオパーク構想が動き出しています。下北半島を一つの広範囲な観光地域と捉え、北前船、歌舞伎などの文化的な繋がりを活かし、町内にある観光資源を下北ジオパーク構想と結びつけ、観光客の誘致を促すという考えも考えられるのではないのでしょうか。今年度スタートする北前船みちのく丸活用計画と、下北地域との観光事業連携をどのようにお考えかお尋ねします。

今後の展開を見定め模索したい

中谷町長

ジオパークとは、自然遺産、例えば地層、岩石、地形、火山、断層などを含む自然豊かな公園等の遺産を保護し、研究に活用するとともに、科学教育や防災教育の場として、新たな観光資源として地域の振興に活かしますと紹介されています。

ジオパーク構想の特徴は、自然遺産を観光資源として活用することを主としているものと認識し、一方の北前船は文化的な面を主としているものと捉えています。自然と文化を結びつけ、観光誘客に繋げていく提言には賛同するものですが、今しばらく推移を見守り、今後の展開を見定めながら連携できるものがあるれば模索したいと考えていますので、ご理解のほど宜しくお願いします。

動物愛護活動の思想の啓発活動について

中谷議員

昨家族の一員として飼養されている犬と猫の頭数が逆転し、今後も猫の数は増加していくと考えられます。県動物愛護管理推進計画書の中に猫の放し飼いに対する禁止規定が無いとのことで、処分ゼロへの道のりはかなり厳しいと感じました。犬と同様に台帳管理を実施するなど思い切った対策をとらなければ、飼い主のいない猫は無くならないと考えます。

また、同じく県動物愛護管理推進計画書に「子供たちが命の大切さを学ぶ機会をできるだけ多く持つことができるよう、動物との触れ合いを通して動物愛護の思想の啓発活動を行います」とあります。このような活動を町の子供たちのために実施していたいただきたいので、考えを伺います。

人と動物の共生する社会づくりを

中谷町長

多くの家庭動物が、人との生活の中で重要な役割を果たすようになってきており、生命尊重、友愛等の情操涵養の観点から、特に、子供が心豊かに育つ上で動物との触れ合いや経験が重要であることが指摘をされています。

一方で十分な知識もなく、安易な気持ちで動物を飼育し、結果、数多くの問題を引き起こしています。今後の対策としては、飼育状況や管理が必要な猫の調査、苦情の発生状況等の把握、自治会等を通じてアンケート調査を行うなど、広く町民からの意見を聴取できればと考えています。その結果をもとに、人に迷惑をかけないための屋内飼育の推奨や、子猫の処分を防ぐための去勢手術実施の働きかけ、飼い猫に迷



子札を装着する情報提供をすること、飼い方の講習会等の実施が考えられますが、何より重要なのは、町と町民が一体となって取り組みを進めていくことだと思います。

猫の台帳管理の実施については、猫への対応方針が定まらない中では困難と考えており、現状では実施する考えはございません。

今後は、県動物愛護センターと連携し、猫の適正な飼育のあり方と、これを普及するための方策を検討し、町民と猫との共生を図っていかねばと考えています。

また、将来を担う子供たちが、動物との触れ合いを通じた動物愛護の精神を育む活動は、命の大切さや思いやりを育む心の醸成、人と動物の共生する社会づくりに寄与するものだと思います。

県動物愛護センターで、学校、幼稚園、保育所等を訪問して動物ふれあい活動を積極的に実施していることから、当町においても今後、各小学校、幼稚園、保育所等に訪問の希望調査をしまして、町の多くの子供たちに動物と触れ合う機会を作りたいと思っています。



江渡 正樹議員

「幸福運ぶみちのく丸の町」を宣言しては

江渡議員

七戸町では「願いかなう絵馬の町」として町のPRに努めています。当町でもみちのく丸の町として「幸福運ぶみちのく丸の町」を宣言されてはどうでしょうか。

今後時間をかけ検討を

中谷町長

北前船は偉大な遺産であると認識し、みちのく丸が幸せを運ぶ野辺地の宝船であると信じ、受けとめているところですが、キャッチコピーについては今後検討しますので、ご理解をお願いします。

利活用プロジェクトの進捗状況等について

江渡議員

一昨年、歴史的見地からの希有性、経費にかかわる資金の確保、利活用についてプロジェクトを立ち上げ取り組むべきと質問しましたが、進捗状況について伺います。

検討室の設置検討と年度内に向性を決定

中谷町長

藩政時代から明治初期にかけて日本の物流と交易の基礎をなし、重要な役割を担った北前船を限りなく忠実に復元し、かつ日本で唯一自力帆走できる船が復元北前型弁財船みちのく丸です。現在、弁財船と呼ばれる復元船は4隻のみで、その中でみちのく丸は最も大型で、存在自体が文化的に希有性、希少性が非常に高いと考え、今後この希有性をもって

PRし、観光誘客に努めたいと考えています。資金確保については、27年6月にみちのく丸地域活性化基金を設置させていただき、

江渡議員

27年度末までにするかと納税によるみちのく丸の応援と一般寄附は、個人23名様及び団体3名様からで、合計1739万3000円のご寄附をいただいています。引き続き国の補助、交付金等を調査検討し、さらに、全国から資金協力をいただくクラウドファンディングについても検討をしていきます。

利活用の進捗状況についてですが、町で利活用検討室の設置検討を行うこととしています。編成に当たっては、寄港地フォーラムの開催や町が策定した地方版総合戦略に基づく事業への取り組み等を考慮し、年度内に方向性を決定しなければならぬものと考えていますので、ご理解のほどお願いします。

みちのく丸による経済的効果の見通しについて

江渡議員

みちのく丸の修理並びに曳航費等、これまでにかかった経費と経済的効果について伺います。

幅広く波及するよう取り組みを強める

中谷町長

26年に無償譲渡を受けて以来2700万円程度の経費を支出しており、補助金、交付金、過疎債で、残りを一般財源で賄っています。経済効果については、みちのく丸の陸揚げの計画場所について認可を受けた場合数年間にわたる工事が見込まれ、あわせて計画をしている観光物販施設、そして朝市を起爆剤とし、農林水産業、商工業、観光、運輸業等への幅広い経済効果が波及するよう取り組みを強めたいと考えています。

北前船寄港地フォーラムについて

江渡議員

北前船寄港地フォーラムの開催時期をいつとしているのか、開催目的に町の将来並びに町民一体化が盛り込まれているかについて伺います。

野辺地町開催に向けたPRと活性化を目指す

中谷町長

町制施行120周年を迎える29年度の開催に向け誘致活動を行ってきましたが、残念ながら開催地として決定を得ることはできませんでした。その後、フォーラム関係者より、東日本での開催もあり得るのではとの意向が示され、最終的には野辺地町の開催希望時期を反映したい旨の回答をいただいているところです。

フォーラムの開催趣旨は、官庁の支援を受けつつも、民間による交流、連携、創造を基



みちのく丸

本とし、北前船寄港地間の連携、地域間交流による活性化を図るための観光フォーラムとしていとお聞きしています。活性化の核となるみちのく丸を最大限に活かし、町民や町内産業団体が一体となった開催に結びつけ、野辺地町のおもてなしの心をもってフォーラム参加者を迎え、北前船寄港地間相互の発展をできるよう各自治体と交流を深めながら開催地野辺地町をしっかりとPRし、今後の地域活性化に結びつけたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。



小坂 徹議員

地域経済の活性化の具体策について

小坂議員

今後は、どのような方策のもと、これまで以上に活性化に向け、地域経済の調和と整合性を図っていくのか。

朝市を活用し、のへじペイフロント計画を推進

中谷町長

1つ目は6次産業化の推進、2つ目は産業団体等と行政との連携、そして産業団体相互が連携できるようサポートし、商業の町の再現に向けた取り組みを進める、3つ目はみちのく丸を当町固有の資源として十分活用し、人と観光資源を結びつけ、付加価値と魅力を高める、この3つを基本方

向と位置づけ、事業を展開したいと考えています。



大勢の買い物客でにぎわう朝市

昨年9月に町内産業団体等の代表者と今後の産業振興に向けた懇談会を実施したところ、連携の必要性と進め方について朝市を活用していくことで共通の認識を得られましたので、のへじ常夜燈朝市推進協議会を今年1月に立ち上げています。地域の活性化を図り、地域経済の発展に結びつけていくための起爆剤として、みちのく丸を拠点としたのへじペイフロント計画を推進していかなければならぬと考えていますので、ご理解を宜しくお願いします。

商工業者への振興策について

小坂議員

商工業に対する内需拡大の振興策について伺います。

商工会との話し合いで効果策を検討

中谷町長

産業団体が一体となった取り組みを推進するほか、町商工会において、町の商工業の現状と課題を整理し、中長期的な振興のあり方や支援方法にかかわる経営支援発達計画を策定したことを受け、これを基本として町商工会と積極的な話し合いを進めていくこととしています。

具体的振興策については、策定された経営支援発達計画の国の認定結果を踏まえながら振興策を含め、町商工会との話し合いの中で、一時的な効果にとどまらない抜本的な効果策を検討したいと考えています。

入札参加指名等について

小坂議員

入札参加指名について、公共工事に関連している小規模事業者、零細業者に対する育成と振興はどのように図っていくのか。

地元業者が工事へ参加しやすい制度を検討

中谷町長

町内業者としての取り扱い基準は、野辺地町工事等入札参加資格選定規程では、県内に本店を有する事業者が町内に営業所等を有している場合も町内業者として扱われるため、競争入札となり、公共工事を受注できる機会が相対的に減少する状況となっています。

しかしながら地元業者は、災害時の対応や除排雪業務、インフラの維持管理など、地域社会の維持に不可欠な役割を担っています。

これまで、中小事業者の安定経営を側面か

全線開通に向け要望を継続

中谷町長

下北半島縦貫道路は有戸北バイパスまで既に整備済みで供用開始となっており、むつ市まで着実に進みつつあります。

下北半島縦貫道路のインター設置計画について

小坂議員

下北半島縦貫道路のインター設置計画はどのように推移されていくのか。



下北半島縦貫道路のーフインター付近

また、上北自動車道や東北縦貫自動車道八戸線への接続区間については、県で整備するか国で整備するか未定との回答を得ています。下北縦貫道路が町まで開通し、他の自動車道へ接続されることで、地域間連携の強化、産業・観光分野の発展と支援、救急医療ネットワークの向上、交流人口の拡大や少子高齢化社会に対応した安心・安全な地域づくり、地域防災力の向上や広域的な復旧・復興等に資するものと思われま。

今後も全線開通に向けた要望をしていきますので、ご協力を宜しくお願いします。



野村 秀雄議員

女性活躍推進法について

野村議員

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、いわゆる女性活躍推進法が本年4月1日に施行されました。推進計画の策定と、協議会を組織する計画はあるのか。女性活躍に対する町長の考えを伺います。

推進計画の策定等で女性活躍の推進に努める

中谷町長

この法律では地方公共団体の努力義務として、市町村推進計画を定めるよう求められているところですが。これを受け、町推進計画の策定または24年度に策定をした男女共同参画

計画の見直しによる推進計画との一体化を検討したいと思えます。

計画策定や見直しに当たっては、女性関連団体や関係機関等を含めた新たな協議会を組織したいと考えています。人口減少時代、女性の力は必要不可欠であり、国の一億総活躍プランで掲げる働き方改革に繋がるものと考え、子育て支援体制の強化、女性の企業就業支援などの実施とともに、関係団体との連携強化を図り、女性活躍の推進に努めますので、ご理解を宜しくお願ひします。



障害者差別解消法について

野村議員

同じく4月1日に施行された障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、いわゆる障害者差別解消法に基づき対応要領の策定はどのようになっていますのか、あわせてこの法に対する考え方も伺います。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す

中谷町長

障害者差別解消法は障害のある人もない人も互いにその人らしさを認め合い、共に生きる社会を目指すことを目的とした法律です。

具体的には、障害のある人に対しては障害者の用の駐車スペースの確保や施設のバリアフリー化など、常日ごろから配慮や気配りをした対応を心がけています。町職員が町民に対して適切に対応するため



北前船寄港地フォーラムについて

野村議員

来年9月開催予定となっており、北前船寄港地フォーラムについて、その経緯、これからの進め方を伺います。

町制施行120周年に合わせた開催を希望

中谷町長

石川県加賀市で開催された北前船寄港地フォーラムにおいて、西日本3自治体が開催の決定を受け、当町は残念ながら落選となっています。

しかし、フォーラム関係者3名を28年3月12日にお迎えし、協議を行ったところ、東日本での開催もあり得るのではないかと、最終的には町が開催を希望する時期を考慮したいと、開催に向けた様々なご提言やご指導、ご助言をいただいたほか、町の北前船寄港地フォーラム誘致の熱い

思いを感じたとの報告も受けました。

29年8月に町制施行120周年を迎えることを受け、みちのく丸の展帆航行を兼ね、29年9月での開催を希望した結果、フォーラム関係者より3月28日付で開催を内諾するとの連絡を受けています。

今後、正式な開催決定を受けてから本格的に準備態勢を整えることとなりますが、フォーラム関係者が関わりを持つ、小坂町観光フォーラム並びに北海道江差町で開催されるフォーラムの視察職員を増やすなど、開催に向けた準備も進めたいと考えています。

北前船寄港地フォーラム並びにみちのく丸展帆航行に関わる計画などについて概要をまとめ、皆様方にご報告する機会を設けさせていただきますので、ご理解をお願いします。

# 委員会報告

## 総務 常任委員会

5月12日開催

### 町民課

マイナンバー制度に係る「通知カード」「マイナンバーカード」の交付状況等について説明を受けました。

#### 委員

『交付状況の交付率は36・5%という数字は良いのか悪いのか。』

#### 町民課長

『全国平均は28・49%と低い状況になっています。』

#### 委員

『目標終了年度は、半永久的に継続か。』

#### 町民課長

『10年』

#### 委員

『休日には2名体制ということだが祝日は何名体制か。担当者は同じか。』

#### 町民課長

『祝日も2名体制です、課内で入れかえて順番にやっています。』

#### 委員

『トラブル的な事案』

## 付託案件

3月議会において総務常任委員会に付託された「軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談を出来る窓口などの設置を求める陳情書」について協議した結果、不採択として処理するものの、スポーツ関係でこのような事故があった場合には、こういった陳情内容があった旨や、適切な対処を行う旨の注意喚起の文書を各関係機関へ送付することとしました。

## 建設産業保健衛生 常任委員会

5月16日開催

### 建設環境課

平成28年度実施予定の「道路改良工事」「橋梁補修工事」「崖崩れ対策」の進捗状況、「下水道事業の計画変更の検討に係る町民説明会」について説明を受けました。

#### 委員

『下水道事業を止め、合併浄化槽を整備したほうがいいのでは。』

#### 建設環境課長

『5年から7年後までの工事の実施区域についてはすでに着手し、国の補助金も使っていますので基本的に再着手し、順次認可区域を広げながら普及率を図っていくことになっていきます。』

#### 委員

『合併浄化槽に予算を使ったほうがよほど安く上がるはずだが。』

#### 建設環境課長

『現在、下北地域広域事務組合で処理していたのですが、下北地域の下水道の普及率が上がってきていることから相対的に町の負担金が多くなることも想定されます。もし中止となれば補助金返還あるいは起債の繰上償還ということにもなりかねないので、意見を集約したうえで合併浄化槽か下水道かを今後考えていきます。』

#### 委員

『返還するとなれば総額いくらぐらいの見通しか。』

#### 建設環境課長

『約3億7000万になります。今後詳しい資料を作成し、町民・議員の皆様方へ詳細に説明をしますので宜しくお願います。』

#### 委員

『市内支線8号線に側溝を入れた後の砂利が子供の通学路にも出てきて危ないので道路をきれいにしておく必要があると思うが。』

#### 建設環境課長

『対応します。』

## 農林水産課

『馬門地区農道整備事業』『防波堤・臨港道路の改修工事』『産直施設新築工事』の見通し、「葉つきこかぶやホタテの品質状況」について説明を受けました。

#### 委員

『もっと大きな産直施設を建てられない理由は。』

#### 農林水産課長

『活用する交付金では、ハード事業がソフト事業の半分程度までしか補助が受けられないためです。』

#### 委員

『町でいくらか負担しても立派なものを建てたいと思うが。』

#### 副町長

『今回はあくまで試験的な施設で、最終的には常夜燈公園にみちのく丸を陸揚げした後、物販や町民の交流の場とかを含めた施設を建設したいというのが町の最終的な計画です。』

『今回は町で建設して』



# 委員会報告

漁協や農協、商工会等の朝市活性化協議会への貸し出し、どれぐらいの集客が見込めるのかなども含めて運営をしていきたいと考えています。」

## 委員

『防波堤の改修工事はかさ上げ工事か。』

## 農林水産課長

「波で浸食された部分の補修工事です。」

## 委員

『産直施設にはトイレを造るのか。』

## 農林水産課長

「高額な工事費となるので、漁協の角の公衆トイレを利用してもらうこととしています。」

## 水道課

平成28年度実施予定の「中央監視装置改修工事」「新田浄水場改修工事」「雑吉沢送水ポンプ改修工事」「枇杷野添架管改修工事」「量水器取替工事」の予定等について説明を受けました。

## 委員

『メーター交換工事

の落札率が40%、50%を切っているが何か原因があるのか。』

## 水道課長

「メーター交換工事の際のメーターは町からの支給で、交換の手間分ぐらいということになるので見積もりに執行をかけるとうまくいった状況になりません。」

## 委員

『最低制限価格を設定したほうがいいのでは。』

## 水道課長

「最低制限価格は指名競争入札ではないので現在は設けておりませんが、良い方法を検討したいと思います。」

## 地域戦略課

「烏帽子岳山開き」や六魂祭に合わせて行われた「復元北前型弁才船みちのく丸の一般公開」、「常夜燈フェスタの日程」、「みちのく丸のPRの一環として製作された「半纏やポロシャツ等」について説明を受けました。」

## 委員

『花火大会に関する意見が様々出ているようだ。』

## 地域戦略課長

「常夜燈フェスタと同日開催でいきたいという商工会青年部の意向ですのでご理解いただきたいと思っております。」



PR用に製作された半纏とフラッグ

## 議員視察

約400年前、大坂城改築の際に切り出された石の一部である、同一岩帯から生まれた石、いわゆる「兄弟石」が当町の「愛宕公園」の石段などに使われていることが判明したことを縁に交流が続いている香川県土庄町を視察研修しました。

平成22年10月10日には、この石の縁を新たな町づくりに繋げるべく「公園」同士の友好調印を締結しています。

土庄町は、瀬戸内海国立公園の東部に浮かぶ小豆島の西北部に位置し、気候は、ヨーロッパから持ち込まれたオリーブの木が唯一根付いたように、四季を通じて温暖な気候となっています。

島の産業は、先のオリーブをはじめとしたオリーブ製品、400年の伝統をもつ醤油製造をはじめ、醤油を活かした戦後始まった佃煮製造、手延べ素麺などが中心です。



土庄町役場での研修風景

土庄町では近年、大型事業として小学校や病院などの再編が進んでいることから、新たに建築・運営されている「町立土庄小学校」や「小豆島中央病院」などを視察し、統廃合が行われるまでの経緯や、統廃合後の旧施設の活用状況等について説明を受けました。

また、小豆島の歴史を語るうえで非常に重要な石材産業について学ぶため、当



大坂城残石記念公園入口前

町の愛宕公園と友好公園を締結した「大坂城残石記念公園」を視察しました。

今回の訪問では、土庄町の歴史や背景のほか、今後町が取り組む方策や効果的な議会運営方法などについて広く意見交換がなされたことから、土庄町との友好・親善と、様々な分野など多方面での交流関係が深まっていくよう、議会としてその役割をしっかりと果たすことを引き続き目指していきます。

# 議会活動

7月14日  
県下町村議会

## 議員研修会

青森市において開催された、県下町村議会議長会主催による議会議員研修会に参加しました。

テレビ朝日「スーパーJチャンネル」等の番組で、政治・経済に強いコメンテーターとして活躍中である、青森県出身の川村晃司氏を講師として迎え「これからの政局・政治動向について」講演されました。



出席議員 (9名)  
 蛭名 猛、熊谷晴雄、江渡正樹、中谷謙一、古林輝信、野坂 充、岡山義廣、小坂 徹、野村秀雄

# 地域活動の紹介 のへじグラウンドゴルフ協会

グラウンドゴルフを通じて、健康維持や体力の増進を図るとともに、会員相互の親睦の輪を広げ、みんなで楽しもうを合言葉に練習しています。ルールは簡単で、高度な技術を必要とせず、子供から高齢者まですべての人



グラウンドゴルフに興じている様子

が楽しくプレーすることができ、昭和57年に考案された比較的新しいスポーツです。練習場所は澄み切った緑に囲まれた「愛宕公園」、さわやかな潮風育む「潮騒公園」です。協会ではこのほか、年数回の草刈など



大会本番でのベストショット



練習場所の手入れは自分達で

も行っています。詳しい内容を知りたい方は、左記問い合わせ先へ、ご連絡お待ちしております。

■問い合わせ先  
 総務担当 長濱竹美  
 080-5553-3401  
 ■会員 45名  
 ■練習時間  
 8時30分～11時30分

# 議会の動き

6月	1日	議会運営委員会
	5日	北部上北協議会連合観閲式
	7日	28年第2回定例会 開会
	8日	28年第2回定例会 一般質問
	9日	28年第2回定例会 議案等審議
	22日	議員総会(連絡会)
	22日	議会運営委員会
	28日～30日	みちのく丸等の利活用推進特別委員会
7月	7日	議会活動(香川県土庄町行政視察研修)
	7日	下水道説明会
	7日	広報委員会
	14日	県下町村議会議員研修
	14日	広報委員会
	15日	十符ヶ浦海水浴場 海開き
	21日	広報委員会
	24日	常夜燈フェスタ

# 9月定例会の予定

5日(月)開会  
 ・町長が議案の提案理由説明をします。  
 ・各委員会の委員長が活動の報告をします。  
 6日(火)一般質問  
 ・議員本人があらかじめ提示したテーマで質問し、それに町長等が答えます。  
 7日(水)～9日(金)議案等審議  
 ・定例会初日に説明された議案に対し、質疑・討論・採決が行われます。  
 ○開会時間 9時30分  
 ○日程変更等があるかもしれませんので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

## 地域活動写真募集!!

議会広報委員会では、町内で活動しております団体の活動を『地域活動の紹介』と題して議会だよりに掲載いたします。

応募の際は、お名前・連絡先を記入のうえ、活動内容の分かる写真数点を議会事務局へ送付ください、持参も可能です。

たくさんのご応募お待ちしております。

詳細・お問い合わせ先  
 野辺地町議会事務局  
 電話 64-2111  
 内線 253・254

## 議会を傍聴しませんか?

傍聴者数  
 第2回定例会(6月)24人。

町民皆様多数のご参加をお待ちしております

# 議会報告会

日時：9月29日（木）  
18時～20時

場所：中央公民館



## 案件

- みちのく丸の利活用の推進について
- 3・6月の定例会の審議内容について
- その他（要望等）

### 編集後記

議会だより156号  
をお届けします。

広報委員会では、議会改革の一つとして、町民の皆様親しく読んで頂ける議会だよりを作ろうと、地域活動の紹介や議員の一般質問の項目について、各委員が受け持ち、試行錯誤しながら取り組んでおります。

町民の皆様、ご意見を議会へお寄せ下さい、議会だより作成に活用させて頂きます。

8月は、暑さと、お盆・お祭り・帰省客とあわただしい日々と思います、お身体をご自愛なされますようご祈念申し上げ編集後記といたします。

（広報委員 江渡）

#### 議会広報委員会

委員長 江渡 正樹  
副委員長 中谷 謙一  
委員 蛭名 猛

〃 野坂 充

〃 柴崎 伸也

〃 野村 秀雄